

令和8年度

通常総会資料

令和8年4月18日

東松山市自治会連合会高坂丘陵支部

## ご挨拶

春光の候 会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。  
日頃より、自治会活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月に八潮市で道路陥没が発生しました。インフラの老朽化の進行や更新の遅れが私たちの生活に及ぼす影響に危惧を覚えました。

また、夏は平均気温が統計開始以降で最も高く、大変な猛暑でした。

このような中、「第36回高坂丘陵地区夏祭り」は多くの賛助をいただき、そして特に熱中症対策を図って開催しました。自治会等に協力いただいております祭りの楽しみの模擬店等もあり、多くの子どもたちも迎えて大変賑い地域の交流も行われました。3年目となるウォーキング主体の「第31回高坂丘陵地区市民体育祭」は、大東文化大学スポーツ科学科のご協力によるウォーキングのためのトレーニング指導を受け、参加者はマイペースで歩いて丘陵やクロスカントリーの秋を楽しみました。

防災防犯委員会は、「防災と防犯」に強いまちづくりを目指すための活動を実施しました。7月に交通安全母の会丘陵支部と共催で「交通安全教室」を開催し、8月に東松山市危機管理防災課と避難所開設の進め方について意見交換しました。10月の「防災訓練」は雨のため室内で消防高坂分署の指導で救命訓練を実施し、12月には東松山警察署の協力のもと「我が家の防犯対策等」をテーマに「防犯講習会」を開催し、多くの参加者がありました。

環境委員会では、昨年も第7回6月、第8回10月に6箇所の水質調査を行い、第8回地獄坊池調査で高いリン酸態リン値が報告されたので追加調査を実施しました。結論は、沢筋全体では正常な状態を確認しました。また丘陵みどりの会より、クビアカツヤカマキリの被害木を順次伐採の予定と報告されました。

「高坂丘陵地区あいさつ運動」は、小・中学校の児童・生徒によりポスターと標語が制作され、継続して推進することができました。あいさつ運動をすることで地域の人との交流が活発になり、防犯や防災につながります。

「高坂丘陵地区新年顔合わせ会」には、市長はじめ代議士、県議や市議の方々をご来賓に迎え、短い時間ですが大変有意義な時間を持ちました。

ところで、私たちは今、世界が「次なる時代への秩序」を模索する移行期にいると思います。そして今年には60年に一度の丙午の年です。目の前の出来事に一喜一憂することなく、「人間万事塞翁が馬」の教えの通り前向きに進んでいきましょう。

私たちの地区は入居から40年以上経過し、「高坂ニュータウン」の歴史を協力して紡いできました。今や日本各地でみられる少子・高齢化に起因する問題は、当地区も同様に抱えています。さまざまな課題に取り組み、持続可能な街（まち）へと歩みをさらに進めましょう。

引き続き、ご理解ご協力をお願い致します。

令和8年4月吉日  
東松山市自治会連合会高坂丘陵支部  
支部長 戸森 健治

# 総 会 次 第

- 1 開会の辞
- 2 支部長挨拶
- 3 議長、書記の選出
- 4 議事
  - 第1号議案 令和7年度事業報告
  - 第2号議案 令和7年度決算および監査報告
  - 第3号議案 「コミュニティ基金」の創設
  - 第4号議案 令和8年度支部役員（案）
  - 第5号議案 令和8年度事業計画（案）
  - 第6号議案 令和8年度予算（案）
- 5 新役員挨拶
- 6 議長、書記の解任
- 7 閉会の辞

第1号議案-1

令和7年度 連合会丘陵支部事業報告 令和7年4月1日～令和8年3月31日

No	行事・事業	時期	事業内容・役員活動内容
1	東松山市自治会連合会	通年	・総会(5/20)、サマーセミナー(8/26) ・役員会(5/12)
2	高坂丘陵支部	通年	・総会(4/19) ・定例会議：第3土曜日開催 (5/17、7/19、9/20、11/15、1/17、R8.3/21)
3	東松山市地域協力員全体会議	4月	・出席(4/22)
4	夏祭り実行委員会	通年	・全体会議(5/17～7/12)3回開催・反省会(8/30) ・グループ会議適宜、責任者会議4回開催 ※別途：反省・慰労会(9/13)
	◇第36回高坂丘陵地区夏祭り	8月	・開催(8/9)多くの来場者あり。
5	スポーツ健康推進委員会	通年	・委員会議開催(5/24、7/12、9/6)
	◇第31回高坂丘陵地区市民体育祭	10月	・スポーツ健康推進イベント開催(10/5)
6	第32回高坂丘陵地区文化祭	11月	・開催協力(11/8、9日) ・参加：21団体
7	防災・防犯委員会	通年	・委員会議開催7回、小委員会議開催3回 ・市危機管理防災課との意見交換会(8/3) ・防犯委員会C開催(2回)
	◇丘陵地区防災訓練	10月	・雨天にて室内にて実施(10/26)参加者100名
	◇交通安全教室	7月	・交通安全母の会高坂丘陵支部共催(7/16) ・午前：交通安全と防犯講和
	◇防犯講習会	12月	・実施(12/7)85名参加
8	環境委員会	通年	・開催(5/11、9/27、R8.2/21) ・事務局会議(5/1、9/16、11/4、R8.2.11)
	◇講話：これまでの活動について	5月	・オオキンケイギク駆除他、5月委員会議にて
	◇池沼水質調査	通年	・第7回6/7、第8回10/4実施。1箇所の追加調査(10/8)結果：沢筋全体では特に問題なし。
	◇春のゴミゼロ・秋の一斉清掃	春秋	・530実施(5/25)一斉清掃は各自治会による。
	◇外来種対策	5月	・ゴミゼロに合わせ、オオキンケイギク駆除実施
	◇丘陵みどりの会	通年	・ナラ枯れに係る年次報告書を発行し、委員会議(第1回、3回)にて活動報告
9	広報活動	通年	・「高坂丘陵ねっと」他を通じ、活動の情報発信
10	自主防災パトロール (ハートピアまちづくり協議会主催)	通年	・青パト：9月より月3~4回協力・年末パトロール協力：(12/24) ・一部自治会実施
11	あいさつ運動推進 (あいさつ運動推進委員会)	通年	・あいさつ運動推進活動に協力 ・児童・生徒協力による啓発ポスター等制作
12	愛の一声運動 (青少年育成市民会議主催)	7月～9月	・高坂駅パトロール(7/25：台風により中止、 8/29、9/26、10/24、11/28)：適宜参加
13	第48回スリーデーマーチ	11月	・中央会場までパレードに参加(11/3) ・自治会協力
14	自治連主催：自治会・町内会交流会	7, 1月	・第1回7月14日：悪天候により中止 ・第2回1月31日(参加者48名内丘陵から4名)

15	草花栽培講習会 (ハートピアまちづくり協議会主催)	4, 9月	・参加：春(4/5) 秋(9/13) ・ハーフ苗、肥料配付
16	高坂丘陵地区新年顔合わせ会 (ハートピアまちづくり協議会主催)	1 月	・参加 (R8.1.17) ・参加者 50 名 (内 7 名来賓)
17	地域福祉活動推進 (社協高坂丘陵支部)	通 年	・役員会議(4/18~3/27) 7 回及び幹事会(4/11 ~2/20) 6 回：適宜参加 ・ふれあいまつり(敬老会として) 協力(10/11)
18	高坂地区との交流	8 月~ 1 2 月	・分踊り大会参加(8/10) ・第 49 回高坂商工会まつり開会式出席(11/9) ・年末夜警活動への感謝のため詰所訪問(12/28 高坂地区関係者と一緒に)

**令和7年度 第36回高坂丘陵地区夏祭り  
実行委員会活動報告**

夏祭り実行委員会委員長

松田 孝幸

今年度の夏祭り実行委員会は例年通り、各自治会からの新しい実行委員参加のもと昨年5月に役割決めのための初回実行委員会を立ち上げ、8月の祭り開催に向け全体会議3回、責任者会議4回、計7回を開催しました。今年度も実行委員会の顔ぶれは例年協力頂いている経験豊富な推進委員と、各自治会選出の新たな実行委員による総勢54人での体制となり、皆さまのご協力のもと順調に準備を進めることができました。

真夏に開催する祭りのため、年々厳しさを増す地球温暖化による猛暑の中での準備作業は、多くの実行委員の高齢化も伴い、体力の衰えを感じさせるものとなってまいりました。しかし、地元住民はもとより、お盆休みに帰省された方々により祭り会場が賑わい、年々来場者が増加しており、特に子供たちの楽しんでいる様子を目の当たりにすると、準備を進めてきた実行委員や関係者にとって約3か月にわたる苦労を忘れさせることとなりました。

今年は熱中症対策としてミストシャワーも増設し、手指消毒の徹底など食中毒にも注意してまいりました。また、みこしの練り歩きなど、参加者の体調にも注意し無理の無いよう時間調整を行いました。その甲斐もあって大きな事故もなく最後のラッキーくじまで滞りなく無事終了することができました。携わっていただいた関係者の方々に深く感謝申し上げます。

高齢化の進む高坂丘陵地区において、この地区にお住まいの方々や周辺地区の方々との親睦を深めることは重要なことであり無事に目的が達成されたのではないかと考えております。

夏祭り開催後、携わっていただいた実行委員・推進委員対象にアンケートを実施し反省会・親睦会を行いました。皆様からいただいた貴重なご意見は次年度以降の開催に活かせるよう引き継いでまいります。今後も皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に下記の通り夏祭り実行委員会における主な活動をご報告申し上げます。

5/17～7/19 夏祭り実行委員会全体会議3回 責任者会議4回 計7回開催

各役割によるグループ会議を適宜開催

協賛金依頼、ポスター・プログラム作成、

関係者への挨拶、イベント景品調達、備品購入・整備等

7/28, 8/5 盆踊り練習会を実施 (2回)

8/9 夏祭り当日 07:00 開催判定会を実施 16:00～21:00 夏祭り実施

8/30, 9/13 反省会, 及び反省・親睦会 (実行委員対象)

令和7年度 スポーツ健康推進委員会事業報告

スポーツ健康推進委員会  
委員長 小田 茂喜

東松山市市民体育祭として高坂丘陵地区は、スポーツ健康推進イベント・ウォーキングを実施して3回目となりましたが、当日は好天にも恵まれ関係各位のご協力により、無事実施することができました。

- 1 実施日 令和7年10月5日(日)
- 2 参加者数 約270名(うち小学生約50名)
- 3 実施内容 ウォーキングにより、桜山小学校から主に高坂丘陵地区内の歩行者専用道路を通り、クロスカントリーコースまでを往復

4 委員会開催実績

スポーツ健康推進委員会は、各自治会から選出された1～3名の実行委員により構成され、下記の通り実施した。

- ・ 第1回実行委員会 5月24日(土)
- ・ 第2回実行委員会 7月12日(土)
- ・ 第3回実行委員会 9月6日(土)

※ 副支部長(体育祭担当)、委員長、センター職員での打ち合わせは随時実施

5 イベントの広報

- ・ ポスターの掲示  
各自治会掲示板への掲示をお願いした。
- ・ パンフレットの配布  
パンフレットを各自治会長のご協力により会員に全戸配布したほか、桜山小学校、白山中学校のご協力により高坂丘陵外から通学している児童・生徒に配布した。

6 最後に

本事業は、東松山市体育祭として実施しており、他地区と同様従来は運動会を行っていましたが、地域住民の高齢化、少子化を考慮して体力測定会に変更、そしてコロナ後からウォーキングイベントへと変更して3回目の実施となりました。

事業実施後の意見交換では

- ・ 高坂丘陵の緑豊かな自然と起伏のある地形、そして地区内の安全な歩行者道路を活用したウォーキングは地域の特性に合っている。
- ・ ウォーキングは住民にも根付いており、健康管理上も無理なく継続できる。
- ・ 高坂丘陵地区に隣接して立地する大東文化大学のスポーツ健康科学部の協力をいただき、地域と大学の連携事業としての意義は大きい。

など肯定的な意見が多く、基本的にはこの形態での継続が望ましいと考えます。

## 1号議案-4

### 令和7年度 高坂丘陵支部 防災・防犯・交通委員会活動報告

令和8年1月19日

防災・防犯委員会

委員長 大熊 茂

丘陵地区に住むすべて皆様に対し、防災・防犯・交通に対する意識向上を重点に年間を通して活動を行なって参りました。

#### 1 委員会等の開催

- ・ 防災・防犯委員会の開催(7回) 5/25 7/16 8/3 9/28 10/26 11/30 12/7
- ・ 防災・防犯委員会(小委員会)3回 6/10 6/15 8/16
- ・ 防犯委員会C(Subcommittee)2回 9/28 11/30

#### 2 交通安全教室の開催

- ・ 令和7年7月16(水)10時~11時半 視聴覚ホール 参加人数 約50人  
丘陵地区住民を対象に交通安全教室を開催。共催：交通安全母の会  
交通安全のビデオ上映、西入間警察署交通課 中鉢係長様 講話
- ・ 防犯ビデオ上映、東松山警察署生活安全課 高橋係長様 講話
- ・ 同日 14時~子供たち対象、交通安全ビデオ上映 参加人数 多数?

#### 3 「避難所開設の進め方」「東松山市危機管理防災課との意見交換会」開催

令和7年8月3日(日)9:30~11時半和室大広間 参加者人数(委員及び一般)約40人?

= 避難所開設の進め方 =

簡易テント/簡易ベット/簡易トイレ、簡易電動トイレ 組立分解収納 実践実施

= 東松山危機管理防災課との意見 =

自主防災組織の活動については、発災時の安否確認避難所開設の準備、運営まで積極的に携って欲しい、但し極力自宅待機の重用性/備蓄/避難方法も選択肢としての行動目標として考えてください。

#### 4 防災訓練の実施

- ・ 令和7年10月26日(日)雨 参加人数 100人  
当日 朝から雨が降りつづけ、室内(和室大広間)にて実施。

##### 訓練内容

プランA(救護)心肺蘇生、AED 質疑応答 1時間半の体験主体の訓練で学びました。 防災グッズの配布

「防災訓練を終えて」

高坂丘陵地区全体で行う防災訓練あり方(やり方)を含め、防災訓練実施 年1回大いに疑問が生じました。各自治会の実情にあった救護/消火/体験などの訓練 各自治会単位で行う必要性を感じました。尚 同時期に行う東松山市防災フェア(総合防災訓練) 防災防犯委員参加も懸案事項と考えます。また、今回の防災訓練を契機に、以前からあります「防災訓練マニュアル」に加え「防災訓練手順書1~5」を作成しました。

#### 5 防犯講習会

- ・ 令和7年度12月7日(日) 参加人数85人 防犯グッズの配布  
東松山警察署署員による講演と質疑応答

## 演題「我が家の防犯対策」

講演終了後御家庭での再認識「防犯チェックリスト」を配布しました。

### 6 ビブス

各自治会の防犯活動を強化するためのビブス（ベスト）の導入について検討された。主な目的は防犯パトロールや見守り活動を行う際に、自治会メンバーであることを明確にし、不審者と間違われることなく活動できるようにすること。11/30 各防災防犯委員に配布。 ながら見守りビブスとする。

以上

令和7年度 高坂丘陵支部 環境委員会事業報告

はじめに

環境委員会は、事業計画に基づき活動をつづけながら、新たな発展に向けてクリーンリーダーにも参加してもらい活動をしてきた。

【環境実績】

1. 環境委員会の開催

委員会：①5月17日 ②9月27日 ③令和8年2月21日

事務局会議：①5月1日 ②9月16日 ③11月4日 ④令和8年2月11日

2. 池沼水質調査

第7回 6月7日：全ての池沼で平常値であることを確認。

第8回 10月4日：地獄坊池への水流の入口付近で「りん酸態りん」（りんイオン）が平常値の10倍の濃度が検出されたため、補足調査を実施。

補足調査 10月8日（桜井アドバイザー）：検出された沢全体では「正常」状態で、特に問題となるような（環境）原因は発見できなかった。

11月13日：第8回調査データが失われたため、追加で水質調査を実施。平常値であることを確認した。

3. オオキンケイギクの駆除活動

第1回環境委員会において、各環境委員に周知し各自治会でのごみゼロ運動（5月30日）に合わせて駆除を実施。丘陵地区内では、撤去の必要性について概ね認識が浸透してきている。

4. 丘陵みどりの会との連携

第1回環境委員会、第3回環境委員会において、門馬副支部長より丘陵みどりの会の活動についての説明があった。

5. 会計報告

暑い日々が続いたため、飲料水（お茶）は必須であった。

項目	金額
お茶代	¥6,121
水質調査セット	¥13,920
合計	¥20,041

以上

令和7年度 決算及び監査報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位=円)

【収入の部】

項目	科目	6年度決算	7年度予算	7年度決算	備考
1	前期繰越金	2,087,809	2,173,433	2,173,433	
2	支部会費	166,700	165,000	163,100	100円×1,631世帯(令和6年度世帯数)
3	夏祭り費	666,800	660,000	652,400	400円×1,631世帯(令和6年度世帯数)
4	体育祭費	83,350	82,500	81,550	50円×1,631世帯(令和6年度世帯数)
5	雑収入	188,332	10,000	13,914	現金利息(3,914)・スリーデーマーチ助成金(10,000)
6	支部運営費助成金	250,730	250,730	249,950	
	収入合計	3,443,721	3,341,663	3,334,347	

【支出の部】

項目	科目	6年度決算	7年度予算	7年度決算	備考
7	夏祭り費	666,800	660,000	652,400	
8	スポーツ健康推進イベント費(旧体育祭)	83,350	82,500	81,550	高坂丘陵地区ハートピアまちづくり協議会宛支払い
9	自治会連合会研修費	0	30,000	0	
10	交際費	5,000	20,000	5,250	消防団第5分団訪問時手土産代(5,250)
11	交通費	0	10,000	0	
12	会議費	4,342	20,000	6,121	お茶代(環境委員会)
13	事務用品、その他	1,196	20,000	3,530	コピー用紙他
14	電気料	14,952	20,000	13,524	共用防犯灯電気料金負担分
15	慶弔費	0	20,000	0	
16	自治会活動責任保険	194,440	210,000	190,430	1,631世帯(加入時の世帯数)
17	丘陵ねっと助成金	50,000	50,000	50,000	
18	環境委員会	13,920	30,000	13,920	池沼水質検査費・用具代
19	あいさつ運動助成金	20,000	20,000	20,000	
20	防災防犯委員会	0	0	0	
21	予備費	36,604	30,000	0	民生委員懇親・交流会開催費用
22	振り込み手数料	2,860	4,000	1,650	高坂丘陵ネット(440)、夏祭り費(770)、防犯灯負担分(440)
23	夏祭り保険金	164,824	0	0	
24	雑支出	12,000	0	11,000	スリーデーマーチより各自治会へ1,000円/員謝礼金参加費
	支出合計	1,270,288	1,226,500	1,049,375	


次年度繰越金	7年度収入の部決算額	7年度支出の部決算額	次年度繰越金額
収入-支出	3,334,347	1,049,375	2,284,972

※通帳残高 2,284,972円は、次年度繰越金と一致する。

会計監査報告

監査の結果、上記のとおり相違ありません

令和8年3月31日

監事 福谷 豊春 

監事 佐藤 博 

第 2 号議案—2

令和7年度 高坂丘陵地区 夏祭り特別会計報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

収入の部

項目	科目	令和6年決算	令和7年度予算	令和7年決算	備考
1	前期繰越金	1,166,580	966,086	✓ 966,086	
2	自治会分担金	666,800	660,000	✓ 652,400	1,631戸×@400円
3	協賛金(寄付金)	514,000	480,000	✓ 525,000	73件(8月9日時点)
4	助成金・祝金	188,000	150,000	✓ 207,000	ハートピア助成金15万、祝金5.7万
5	参加費	9,000	15,000	✓ 12,000	模擬店出店料(4件×@3000)
6	預金利息	359	400	✓ 1,567	
	雑収入	167,424	0	5,200	手ぬぐい販売
	合計	2,712,163	2,271,486	2,369,253	

支出の部

項目	科目	令和6年決算	令和7年度予算	令和7年決算	備考
7	設備費・会場費	382,279	460,000	463,800	提灯・電気工事・飲料等
8	機材関係レンタル代	341,440	364,000	357,950	やぐら、模擬店備品、音響レンタル
9	広告・宣伝費	107,330	107,000	98,890	プログラム・ポスター
10	事務通信費	16,463	22,000	16,146	事務用品・プリンターインク
11	会議費	36,690	47,000	36,200	お茶・反省会
12	謝礼金	39,940	40,000	46,620	図書カード、謝礼、交際費
13	来賓関係費	10,000	20,000	0	模擬店での買い物他(飲食)
14	ゴミ処理・管理衛生費	44,000	45,000	56,100	ゴミ処理
15	その他	3,410	7,000	3,630	道路使用許可申請代金、振込手数料
16	本部運営費	139,592	145,000	123,995	当日のスタッフ弁当、飲料
17	祭り運営費	280,048	290,000	278,767	ラッキーくじ・イベント景品・飲料等
18	雑費	224,885	71,000	51,284	高速料金、駐車料金、テント修理代等
19	補助金	120,000	30,000	30,000	みこしの会(30,000円)
20	夏祭り備品費	0	0	0	
21	夏祭り用品	0	0	0	
22	通信費	0	0	0	協賛者等への通信費(葉書等)
	合計	1,746,077	1,648,000	1,563,382	


次年度繰越金(収入-支出)	令和7年収入金額	令和7年支出金額	次年度繰越金額
	2,369,253	1,563,382	✓ 805,871


※通帳残高円は次年度繰越金と一致する。

会計監査報告

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

令和 8 年 3 月 31 日

監事 佐藤 博 

監事 梶谷 豊春 

## 令和7年度 高坂丘陵地区 夏祭り特別会計 集計用内訳

部門	項目	科目	品目	決算	予算
本部	10	事務通信費	ファイル、名札、のし、マーカー、領収書	5,832	10,000
	11	会議費	飲み物代(打合せ・反省会会議)	34,000	30,000
	13	来賓関係費	他地域へ祝金	10,000	10,000
	13	来賓関係費	接待費(おつまみ等)	0	5,000
	16	本部運営費	救急薬代	0	5,000
	18	雑費	タオル、ガソリン代、テント修理代		18,000
	19	補助金	丘陵太鼓(8年度まで支払済)・みこしの会	30,000	30,000
			小計	79,832	108,000
会場	7	設備費・会場費	電気工事代、テント設置費	370,000	440,000
	7	"	備品代(ミスト関連)	73,048	10,000
	7	"	消耗品(石灰・インカートリッジ他)、ガソリン代	20,754	10,000
	8	機材関係レンタル代	会場レンタル品(やぐら、音響、扇風機、検温器等)	217,250	80,000
	10	事務通信費	コピー代	640	
	11	会議費	飲み物代	0	5,000
	14	ゴミ処理・管理衛生費	廃棄物処理(瀬戸商事)	56,100	50,000
18	雑費	設営日飲み物代、手・指消毒液等(車両3台含)	34,357	30,000	
			小計	772,147	625,000
模擬店	8	機材関係レンタル代	模擬店レンタル品(ダスキン)	125,400	260,000
	8	"	プロパンガス(宇津木商店)	15,300	23,000
	10	事務通信費	道路使用申請書	2,500	1,000
	18	雑費	手・指消毒液等	10,034	12,000
			小計	153,234	296,000
企画	8	機材関係レンタル代	CD代、その他	0	1,000
	9	広告・宣伝費	ポスター・プログラム代(プリントバック)	48,890	57,000
	9	"	デザイン料(并行屋デザイン)	50,000	50,000
	10	事務通信費	看板作成、コピー用紙、イベント資材	7,174	4,000
	11	会議費	飲み物代	2,200	3,000
	12	謝礼金	白山中先生QUOカード、生徒用図書券	26,620	30,000
	12	"	ふみつきの会礼金	10,000	10,000
	16	本部運営費	つまみ・飲み物代(祭り当日分)	3,280	20,000
	17	祭り運営費	豚汁調理(食材等)他	9,170	10,000
	17	"	みこしの会等飲食費、子どもの菓子	98,592	110,000
	17	"	商品券など賞品代	85,151	50,000
	17	"	飲み物代、スイカ代(練習日含む)	77,659	60,000
	17	"	イベント等飲食費、子どもの菓子	8,195	60,000
18	雑費	消耗品(スイカ割関連等)、ガソリン代、高速代	6,893	10,000	
			小計	433,824	475,000
広報 渉外	10	事務通信費	パンダー、カートケース、ポールペン	0	5,000
	11	会議費	飲み物代	0	3,000
	16	本部運営費	つまみ・飲み物代(祭り当日分)	12,268	10,000
	18	雑費	祝袋他	0	1,000
			小計	12,268	19,000
庶務	10	事務通信費	コピー用紙、インカートリッジ	0	1,000
	11	会議費	飲み物代	0	3,000
	16	本部運営費	スタッフ弁当代・飲み物代	57,297	60,000
	15	その他	道路使用許可書代	0	3,000
			小計	57,297	67,000
警備	10	事務通信費	コピー代、切手代、救護品	0	1,000
	11	会議費	飲み物代	0	3,000
	16	本部運営費	民間警備代	51,150	50,000
			小計	51,150	54,000
その他	15	その他	東和銀行振込(振込手数料)	3,630	4,000
	15	"	東和銀行(残高証明書)	0	0
			小計	3,630	4,000
			合計	1,563,382	1,648,000

**「コミュニティ基金」の設置並びに規約について（案）**

東松山市自治会連合会高坂丘陵支部（以下、支部と称する）は、コミュニティ基金を設置し、以下のように規約を定めたい。

**名称 第1条** この名称は、コミュニティ基金（以下、基金という）と称する。

**目的 第2条** 基金は、支部の有する財産を適切に管理運用するとともに、コミュニティ活動、地域の福祉及び防災等の共同の利益の増進を図ることを目的とする。

**基金の積立 第3条** この基金の積立は、毎会計年度の繰越金の中より役員会に計り一般会計予算に計上し、総会の承認を得る。

**報告の義務 第4条** この基金の積み立て状況は、毎会計年度の総会で、一般会計の収支報告と併せて報告する。

**基金の使用 第5条** この基金を使用するには、総会において決定する。但し、緊急を要する場合、又は必要やむを得ない理由により生じた場合は、役員会により決定し、事後の総会に報告して了承を求める。

**利子 第6条** 基金から生じた利子は、基金会計に積立てるものとする。

**管理 第7条** この基金は、預金通帳・出納簿により管理する。尚、会計監査は一般会計に準ずる。

**会計年度 第8条** 基金の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

**特別会計 第9条** 基金の会計は、自治連高坂丘陵支部の特別会計とする。

**その他 第10条** 本規定を改定する必要を認めた場合は、役員会に計り総会において決定する。

付則 この規約は、令和8年4月18日から実施する。

第4号議案

令和8年度 支部役員名簿(案)

役職	氏名	自治会名	氏名	自治会名
支部長	黒田 保秀	桜山台東		
副支部長 (担当)	門馬 有三 (全般)	桜山台北	陸名 万年 (全般)	エステ松風台
	宮嶋 幹雄 (防犯・防災)	旗立台南		
	津野 昭二 (夏祭り)	旗立台	堂ノ下 良二 (夏祭り)	旗立台南
夏祭り実行委員会委員長	松田 孝幸	エステ松風台		
同 副委員長	依田 行生	旗立台	五十嵐 英明	旗立台
	一場 一重	桜山台北	長岡 満	桜山台北
	木原 照雄	エステ松風台		
スポーツ健康推進委員会委員長	市川 隆	桜山台南		
同 副委員長	西牟禮 京子	桜山台南		
防災・防犯委員会委員長	寄崎 高弘	パークス松風台		
同 副委員長	高宗 祥一	松風台	佐久間 敬介	松風台
	遠田 正利	四季の丘	小川 文男	四季の丘
環境委員会委員長	令和7年度をもって中断			
同 副委員長				
総務担当	吉岡 満男	パークス松風台		
総務・書記副担当	井上 正夫	パークス松風台		
書記	戸森 健治	白山・松風台		
会計主担当(本会計)	山崎 雅昭	桜山台東		
会計副担当(夏祭り特別会計)	石崎 成子	旗立台南	千島 健治	旗立台南

【会計監査】

役職	氏名	自治会名	氏名	自治会名
監事	但木 久和	白山・松風台	瀧澤 宏	桜山台東

第5号議案-1

令和8年度 連合会丘陵支部事業計画 令和8年4月1日～令和9年3月31日

No	行 事・事 業	時 期	事業内容・役員活動内容
1	東松山市自治会連合会	通 年	・総会、役員会 ・サマーセミナー
2	自治会連合会高坂丘陵支部	通 年	・総会 ・定例会議：3土曜日開催
3	東松山市地域協力員全体会議	4 月	・出席
4	夏祭り実行委員会	通 年	・全体会議、責任者会議、各グループ会議 ・反省会
	◇第37回高坂丘陵地区夏祭り	8 月	・開催
5	スポーツ健康推進委員会	通 年	・委員会議開催
	◇第32回高坂丘陵地区市民体育祭	10 月	・スポーツ健康推進イベント開催
6	第33回高坂丘陵地区文化祭	11 月	・開催協力
7	防災・防犯委員会	通 年	・委員会議、小委員会議開催 ・市防災危機管理課との意見交換会
	◇防災訓練	10 月	・開催
	◇防災・防犯等意識向上の取組 (情報発信他)	適 宜	・実施
	◇防犯講習会	12 月	・開催
8	広報活動	通 年	・「高坂丘陵ねっと」を通じ、活動等の情報発信 ・回覧も手配
9	自主防災パトロール (ハートピアまちづくり協議会主催)	通 年	・青パト協力 ・年末パトロール協力
10	あいさつ運動推進 (あいさつ運動推進委員会)	通 年	・あいさつ運動推進活動に協力 ・児童・生徒協力による啓発ポスター等制作
11	愛の一声運動 (青少年育成東松山市民会議主催)	7月末～ 9月中旬	・高坂駅でのパトロールに参加
12	第49回スリーデーマーチ	11 月	・中央会場までパレードに参加協力
13	自治連主催：自治会等交流会	7 月	・自治会相互の情報交換会参加
14	民生/児童委員との交流会	12 月	・開催
15	高坂丘陵地区新年顔合わせ会	1 月	・ハートピアまちづくり協議会共催開催
16	地域福祉活動推進(社会福祉協議会高坂丘陵支部、第2層協議体)	通 年	・社協高坂丘陵支部定例会議出席 ・第2層協議体会議出席
17	高坂地区との交流	4～12月	・物見山つつじ祭り(4月) ・盆踊り大会(8月) ・第50回高坂商工まつり ・消防第5分団への訪問(分団詰所へ高坂支部長・センター長、丘陵センター長と共に)

令和8年度 第37回高坂丘陵地区夏祭り  
実行委員会活動計画(案)

令和7年度 夏祭り実行委員会委員長  
松田 孝幸

1. 夏祭りの目的・目標

高坂丘陵地区住民の親睦と近隣との融和を図り、さらに次世代が移り住みたくなる環境を創る。

- ① 災害時に備え高齢化が進行する丘陵地区住民の一層の連携と理解を図る。
- ② 子ども達と高齢者が世代を超えて一緒になって楽しむ。
- ③ 自分たちの故郷として思い出に残せるような祭りを目指す。
- ④ お盆休みは高坂丘陵夏祭りと思われるような祭りを目指す。
- ⑤ 安全で事故のないよう無理のない祭りを目指す。
- ⑥ 高齢化に伴い自治会員の負担を考慮し継続できる運営とする。
- ⑦ 実行委員自身も祭りを楽しむ。

2. 実行委員会の構成

- ① 自治会連合会高坂丘陵支部選出の実行委員長（1名）、副委員長（5名）
- ② 各自治会より選出(各自治会2名程度、約20名)
- ③ 経験者（推進委員）（約35名）
  - ※毎年経験者（推進委員）を勧誘し、増員を計る。
  - ※ 以上のメンバーが下記6部門に分かれて運営する。
    - 1.企画 2会場 3広報・渉外 4模擬店 5警備・救護(本部) 6庶務(本部)
  - ※ 夏祭り会計・本部会計（本部）
  - ※ 各部門の責任者は、原則として副委員長から選出
- ④ 各自治会模擬店担当者（各自治会2名程度）
- ⑤ 外部団体模擬店出店担当者
- ⑥ イベント協力者（丘陵太鼓、丘陵みこしの会、白山中学校、ふみつきの会）
- ⑦ 警備協力者（交通安全母の会、小中学校PTA、民間警備会社等）

3. 実行委員会の開催

- ① 第1回全体会議を5月に開催し、その後、夏祭り当日までの間に2回開催する。
- ② 全体会議のほかに責任者会議を4回程度開催する。
- ③ 上記のほか、グループ毎に分科会を必要に応じて開催する。
- ④ 祭り当日の朝7時に開催判定の協議を行う。
- ⑤ 祭り開催後、反省会を行う。

#### 4. 夏祭り開催日時（案）

2026年8月8日（土） 雨天順延（予備日8月9日（日））

開催時間 16：00～21：00

会 場 高坂丘陵市民活動センター 第2駐車場

※お盆休みに合わせて開催し、里帰りしている世代の集客を図る。

※状況により柔軟に時間・内容の変更を行う。

#### 5. 運営方法について

- ① 模擬店については自治会毎の出店が原則となっているが外部業者との協同での模擬店出店も可能とする。（キッチンカーを含む）
- ② 会場設営の為に自治会負担軽減を図るため、追加のお手伝い要員を無くす。
- ③ ②のため、実行委員の振り分けを変更し、会場係により多くの人数を振り分ける。
- ④ 各自治会の模擬店準備作業は可能な限り祭り当日の午前中の作業のみで可能となるようにする。
- ⑤ 会場設営の負担を軽減するための運営を図る。

#### 6. 実行予算についての懸念事項

- ① 令和8年度予算は、昨年に引き続き物価高騰が予想されるため増額しましたが、執行するにあたっては十分注意する。
- ② 住民の高齢化、自治会員の減少等により会場設営や模擬店出店など困難と思われる場合も想定して、外部協力・委託としなくてはならない場合がある。
- ③ 現状の収入（自治会員分担金、助成金、協賛金など）より、支出（開催費用）が上回り、繰越金を補填しながら開催していることに対して、今後協議が必要。（今年程度でほとんど繰越金が無くなってしまう）
- ④ 以上の状況を考慮して可能な範囲での開催を模索する必要がある。

#### 7. 注意事項

- ① 飲食に係る模擬店の食中毒等の衛生管理
- ② 熱中症を避けるための体調管理
- ③ 急性アルコール中毒を避けるための体調管理
- ④ けが、事故の無いような運営管理
- ⑤ 物損事故・レンタル品の欠損・毀損防止のための取り扱い

令和8年度 スポーツ健康推進委員会事業計画(案)

スポーツ健康推進委員会  
委員長 小田 茂喜

1 目的

東松山市市民体育祭として、秋の訪れを感じながらご近所やご家族と一緒にウォーキングにより楽しい健康増進イベントを実施します。

2 主催等

- ・主催 高坂丘陵地区スポーツ健康推進イベント実行委員会  
高坂地区ハートピアまちづくり協議会  
自治会連合会高坂丘陵支部
- ・共催 東松山市
- ・協力 大東文化大学・スポーツ健康科学部  
桜山小学校

3 日時・場所

令和8年10月4日(日)

- ① ウォーキング:高坂丘陵地区内 ② メイン会場:桜山小学校

4 実施内容

ウォーキングにより、桜山小学校から主に高坂丘陵地区内の歩行者専用道路を通り、埼玉県立こども動物公園クロスカントリーコースまでを往復する。

ウォーキング開始前に大東文化大学スポーツ健康科学部の協力により運動指導を実施する。

5号議案-4

令和8年度 高坂丘陵支部 防災・防犯・交通委員会活動計画 (案)

08年1月19日

防災防犯委員会

委員長 大熊茂

防災・防犯・交通において、どちらとも大切なことは、まずは自分の身の安全を守ることです。そのためには、住民一人ひとり災害・事故に遭わない防災対策、犯罪・事故に巻き込まれない防犯対策、事故対策を意識した生活を心掛けることが求められます。防災・防犯委員会では、向こう三軒両隣の精神において通年を通して高坂丘陵地区にお住いの皆さんに対して、防災・防犯・交通に関する情報を、時には、注意喚起を発信するとともに、防災訓練や防犯講習会等開催を通して、意識向上(知識力、行動力)に向けた支援活動に取りくみます。

下記草案にて新たな委員の総意をもって08年度計画作成(第一回防災・防犯委員会にて皆で話し合い、取り組み活動計画を作成完成実施することを望みます。

1 防災・防犯委員会の開催

通常委員会 5/? 8/? 9/? 10/? 11/? 12/?

小委員会 必要に応じ随時

2 防災・防犯に関する意識向上対策

まずは、新たに防災・防犯委員になられた方に対し、意識を高めて頂きます。

市危機管理防災課との意見交換会(技術と情報の共有化)一般参加可

第2回防災・防犯委員会時に開催

8月?日 時?~時?(案)

テーマ「避難所開設の進め方」簡易テント、簡易ベット、簡易トイレ、簡易電トイレの組立分解収納までの実技。

「市危機管理防災課との意見交換会」

尚、実施訓練は、高坂丘陵市民活動センター和室大広間を予定

上記につきましては、東松山市で行なっている「きらめき出前講座」のメニューにある「市民の市民による、市民のための救助」を申し込み、開催決定を受けることにより講師を務める市職員が資機材を持ち込んで実技指導をしてくれます

\* 実施後は、実施状況を取りまとめ、回覧 丘陵ネット掲載により、参加していない住民へ情報として周知して頂くことが、効果てきです。なお各委員は、それぞれの自治会の役員会等で状況を説明して頂きたいと思えます。

第3回防災・防犯委員会

避難所となる施設見学会(白山中) 一般参加可

令和8年度3月白山中工事終了リニューアルオープン白山中見学会R7、7月快諾 済  
9月 ?日 ?時~ ?時 (案)

\* 実施後は、実施状況を取りまとめ、回覧/丘陵ネットにて、参加していない住民へ情報として周知して頂くとともに、各委員は、それぞれの自治会の役員会等で状況を説明して頂きたいと思えます。

### 3 丘陵地区の全住民に対する取組み

- 1 防災・防犯に関する定期的な情報の提供  
回覧、丘陵ネット等を活用し情報提供を行います。
- 2 問題発生時は、随時「注意喚起」を発信  
回覧、丘陵ネット等を活用し注意喚起をおこないます。  
\* 自治会内で発生した個別問題事案は、各自治会の防災・防犯委員から自治会内に発信して頂くとともに防災・防犯委員会の委員長へ情報提供をお願いします。

### 4 地域の防災力向上対策

#### 防災訓練

- 1 高坂丘陵地区防災訓練（合同訓練）  
10月 ?日 ?時～ ?時（予定）  
防災訓練マニュアル 進め方  
\* R7年度防災訓練手順書1～5作成 東松山消防署高坂分署アドバイスに、基づいて、3つのbooth（救護、消火、体験）6つのselectを作成いたしました。  
1selct 15分で終了し、順序訓練を回すと 1時間半で終了。  
尚 雨天対策のマニュアルも作成 済。
  - 2 市主催 防災フェス（総合防災訓練）  
10月 ?日 ?時～ ?時（予定）  
\* 防災・防犯委員会及び各自治会（自主防災組織）の参加検討項目とします。
- ③自治会単独防災訓練（個別訓練＝実施は各自治会の任意）  
\* 防災・防犯委員会とし個別訓練の活動を支援します。  
実施する自治会の要請に対する支援（消防署への協力要請や防災・防犯委員の相互協力など）

### 5 防犯対策

#### （1）講習会（講演会）の開催

12月 ?日 ?時～ ?時?（予定）

東松山警察署署員による講演と質疑応答

演題「我が家の防犯対策」

#### （6）防犯対策 地域の防犯力向上の進め方

- \* 令和7年11/30 第4回防災・防犯委員会時、パトロールベスト（ビブス）110着各自治会に配布致しました。防災・防犯委員/自治会班長様活動時多くの方に着用してもらい、目で見させる威圧「ながらパトロール」になれば幸いです。  
\* 地域緑化 センサーライト 玄関灯（LED白色） パトロール 防犯カメラ  
街並みを明るく保つのが、防犯力向上に繋がります。

以上

## 令和8年度 高坂丘陵支部 環境委員会事業計画

近年における環境委員会の主な活動は、3か所の池沼（地獄坊池・呉器沼・調整池）の水質調査（年2回実施）、ごみゼロ運動の推進がメインとなっている。

水質調査は、令和7年を含め、過去4年間（計8回）継続して実施されているが、特に問題は発生していない。

このことから、今後も水質調査を継続して行く必要性は無いのでは、との声も上がっている。

自治会には、環境に対して本来業務が存在している。これらの問題を解決するために、環境委員会での以下に示されるようなこれまでの成果を踏まえて取り組むことが期待される。

◎ 公園・緑地等管理窓口の一覧表（参照：高坂丘陵ねっと）

公園等の名称・管理者・指定管理者・管理窓口（各自治会）が記載されている。

◎ 公園・緑地樹木の考え方（参照：高坂丘陵ねっと）

東松山市都市公園内樹林地等管理指針に基づく考えがまとめている。

毎年、環境委員が改選され、近年では水質調査が主たる業務となっており、本来業務への意識が希薄になっていると思われる。

また、各自治会も、それぞれ諸問題を抱えており、高齢化も進んでいる。各役員の負担も増加傾向にある。

以上の観点から、次年度以降（令和8年度以降）の環境活動に関しては、下記記載の方向とする。

### 記

- ① 年3回開催されていた丘陵支部における各自治会環境委員による環境委員会は開催しない（中断）。
- ② 水質調査は中止。（リクエストがあればその限りではない）
- ③ 環境活動は、各自治会レベルでまず検討し、解決が困難な場合、あるいは他の自治会と情報を共有した方が望ましいと考えられる場合は、丘陵支部役員会に報告し、役員会で共有・検討する。  
各自治会の環境役員やクリーンリーダーで活動する。
- ④ 各自治会は丘陵ねっとHPに記載されている内容を軸に活動する。
- ⑤ 環境問題への丘陵支部役員会への対応
  - ・各自治会との情報共有：各自治会で取り組んでいる環境問題の状況把握と共有。
  - ・各自治会への助言：環境問題への知見を有する方、丘陵地区役員によるこれまでの経験からする助言。
  - ・丘陵地区全体に関わる問題は、支部規約第10条による専門委員会を設置して問題解決を図る。

以上

令和8年度 予算(案)

令和8年4月1日～令和9年3月31日(単位=円)

※令和8年度松山市予算10%経費削減額は不明のため未計上

1. 一般会計

単位：円

【収入の部】

科目	7年度予算	8年度予算	増(▲)減	備 考
前年度繰越金	2,173,433	2,284,972	111,539	
支部会費(a)	165,000	163,100	▲ 1,900	100円×1,631世帯(令和7年度世帯数比▲19)
夏祭り費(b)	660,000	652,400	▲ 7,600	400円×1,631世帯(令和7年度世帯数比▲19)
体育祭(c)	82,500	81,550	▲ 950	50円×1,631世帯(令和7年度世帯数比▲19)
雑収入	10,000	11,000	1,000	預金利息・スリープーマーチ助成金
支部運営費補助金	250,730	249,950	▲ 780	令和7年度実績
収入合計	3,341,663	3,442,972	101,309	

【支出の部】

科目	7年度予算	8年度予算	増(▲)減	備 考
夏祭り費	660,000	652,400	▲ 7,600	400円×1,631世帯(令和7年度世帯数比▲19)
体育祭費	82,500	81,550	▲ 950	50円×1,631世帯(令和7年度世帯数比▲19)
自治会連合会研修費	30,000	30,000	0	サマーセミナー他
交際費	20,000	20,000	0	
交通費	10,000	10,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	お茶代・弁当代他
事務用品、その他	20,000	20,000	0	コピー用紙他
電気料	20,000	20,000	0	共用防犯灯電気料金負担分
慶弔費	20,000	20,000	0	
自治会活動責任保険	210,000	210,000	0	富士総合保険
丘陵わっと助成金	50,000	50,000	0	
環境委員会	30,000	0	▲ 30,000	令和8年度委員活動中断
あいさつ運動助成金	20,000	20,000	0	
コミュニティ基金積立金	0	1,000,000	1,000,000	特別会計「コミュニティ基金」繰出金
予備費	30,000	85,022	55,022	環境衛生委員活動中断に伴う予備経費等
振り込み手数料	4,000	4,000	0	
諸費	0	1,200,000	1,200,000	内部留保資金(コミュニティ基金次年度充当財源)
支出合計	1,226,500	3,442,972	2,216,472	

前年度繰越金	8年度収入金額	8年度支出金額	収入-支出
2,284,972	3,442,972	3,442,972	0

(参考)令和7年度予算

次年度繰越金	7年度収入金額	7年度支出金額	次年度繰越金額
収入-支出	3,341,663	1,226,500	2,115,163

\*7年度予算は収支不均衡

2. 特別会計(コミュニティ基金)

【収入の部】

単位：円

科目	7年度予算	8年度予算	増(▲)減	備 考
一般会計繰入金	0	1,000,000	1,000,000	令和8年度コミュニティ基金事業開始
収入合計	0	1,000,000	1,000,000	

【支出の部】

科目	7年度予算	8年度予算	増(▲)減	備 考
コミュニティ対象事業	0	0	0	
支出合計	0	0	0	

単位：円

科目	7年度末基金残高	8年度積立額	8年度取崩額	8年度末基金残高	備 考
コミュニティ基金	0	1,000,000	0	1,000,000	

\*特別会計は「コミュニティ基金」として、令和8(2026)年度に新設され、災害時緊急対応及びコミュニティ活動などの事業に充当するために積み立てるものです。

## 第6号議案-2【差換版】

### 令和8年度 高坂丘陵地区 夏祭り特別会計予算(案)

令和8年4月1日～令和9年3月31日(単位:円)

#### 【収入の部】

項目	科目	令和7年度予算	令和8年度予算	増減(R8-R7)	備考
1	前期繰越金	966,086	805,871	-160,215	
2	自治会分担金	660,000	652,400	-7,600	1631戸×400円
3	協賛金	480,000	530,000	50,000	協賛金(50万円)、寄付金・祝金(3万円)
4	助成金	150,000	150,000	0	ハートピア助成金(15万円)
5	参加費	15,000	15,000	0	3,000円×5件
6	預金利息	0	400	400	
	合計	2,271,086	2,153,671	-117,415	

#### 【支出の部】

項目	科目	令和7年度予算	令和8年度予算	増減(R8-R7)	備考
7	設備費・会場費	460,000	462,000	2,000	提灯・電気工事、自治会テント設営費
8	機材関係レンタル代	364,000	396,000	32,000	模擬店備品レンタル・音響・櫓
9	広告・宣伝費	107,000	110,000	3,000	プログラム・ポスター
10	事務通信費	22,000	43,000	21,000	事務用品・プリンターインク・コピー代
11	会議費	47,000	57,000	10,000	飲物代
12	謝礼金	40,000	40,000	0	図書券・祝金等
13	来賓関係費	20,000	20,000	0	接待費
14	ゴミ処理	45,000	60,000	15,000	ゴミ処理代
15	その他	7,000	7,000	0	道路使用許可申請代金・振込手数料
16	本部運営費	145,000	135,000	-10,000	飲料・弁当、救急薬代、民間警備費
17	祭り運営費	290,000	335,000	45,000	イベント代、飲食代・菓子類
18	雑費	71,000	85,000	14,000	消耗品
19	補助金	30,000	30,000	0	みこしの会(30,000円)丘陵太鼓(令和8年まで補助済)
20	夏祭り備品費	0	100,000	100,000	芳名掲示板、会場案内板更新代
21	次年度繰越費	0	273,671	273,671	
22		0	0	0	
	合計	1,648,000	2,153,671	505,671	

次年度繰越金 (収入-支出)	令和8年度収入金額	令和8年度支出金額
	2,153,671	2,153,671

第 6号議案-3 【差換版】

令和8年度 夏祭り特別会計 集計用内訳(案)

部門	項目	科目	品目	金額
本部	10	事務通信費	ファイル、名札、のし、マーカー、領収書	20,000
	11	会議費	飲み物代(打合せ・反省会等)	40,000
	13	交際費	他地域へ祝金	10,000
	13	来賓関係費	接待費(おつまみ等)	10,000
	16	管理運営費	救急薬代	5,000
	18	雑費	タオル、ガソリン代	10,000
	19	補助金	丘陵太鼓・みこしの会	30,000
			小計	125,000
会場	7	設備費・会場費	電気工事代、テント設営費	440,000
	7	〃	消耗品(石灰・インカートリッジ他)	22,000
	8	機材関係レンタル	会場レンタル品(やぐら・音響、扇風機、検温器等)	240,000
	11	会議費・事務通信費	コピー代等	5,000
	14	ゴミ処理・管理衛生費	廃棄物処理(瀬戸商事)	60,000
	18	雑費	設営日飲み物代、軽トラ借用費(ガソリン代共)	45,000
			小計	812,000
模擬店	8	機材関係レンタル	模擬店レンタル品(ダスキン)	135,000
	8	〃	プロパンガス(宇津木商店)	20,000
	10	事務通信費	コピー代等	1,000
	18	雑費	手・指消毒液等	20,000
			小計	176,000
企画	8	機材関係レンタル	CD代	1,000
	9	広告宣伝費	ポスター・プログラム代(プリントパック)	60,000
	9	〃	デザイン料(井行屋デザイン)	50,000
	10	事務通信費	カッター、コピー用紙	10,000
	11	会議費	飲み物代	3,000
	12	謝礼金	白山中先生(ぼたん円等)、生徒用図書券	30,000
	12	〃	ふみつきの会礼金	10,000
	17	企画飲食代	つまみ・飲み物代(祭り当日分)	10,000
	17	みこしの会	豚汁調理(食材等)	15,000
	17	みこしの会	みこし担ぎ参加者飲食費(子供の菓子)	50,000
	17	イベント景品等	商品券(ぼたん円等)など賞品代	90,000
	17	〃	飲み物代、スイカ代(練習日含む)	90,000
	17	〃	イベント等飲食費、みこしの会接待費	80,000
	18	雑費	消耗品(スイカ割関連等)、ガソリン代、高速代	10,000
			小計	509,000
広報渉外	10	事務通信費	バインダー、カートケース、祝い袋、ラミネートフィルム	10,000
	11	会議費	飲み物代	3,000
	16	本部運営費	つまみ・飲み物代(祭り当日分)	15,000
	20	備品	芳名掲示板、会場案内板更新	100,000
			小計	128,000
庶務	10	事務通信費	コピー用紙・インカートリッジ	1,000
	11	会議費	飲み物代	3,000
	16	本部運営費	スタッフ弁当代・飲み物代	60,000
	15	その他	道路使用許可書代	3,000
			小計	67,000
警備	10	事務通信費	コピー代、切手代	1,000
	11	会議費	飲み物代	3,000
	16	民間警備費	民間警備費用	55,000
			小計	59,000
その他	15	振込手数料	東和銀行振込	4,000
			小計	4,000
繰越金	21	次年度繰越金		273,671
			小計	273,671
			合計	2,153,671